

アンケート自由記述 集約結果

Q5 今後、地域に開かれた学校として、どのような利用ができるとよいと思いますか。

■ カテゴリ別集計（村内・村外別）

カテゴリ	村内 (件)	村外 (件)	合計 (件)	構成比
図書ラウンジ・図書室の開放・学習	21	2	23	24.5%
地域イベント・交流の場としての活用	17	14	31	33.0%
施設・設備の開放（体育館・グラウンド・遊具等）	6	0	6	6.4%
地域住民参加の教育・ゲストティーチャー	2	0	2	2.1%
カフェ・憩いの場・居場所づくり	2	1	3	3.2%
防災・避難所としての機能	1	1	2	2.1%
その他・全般的な期待	15	12	27	28.7%
合計	64	30	94	100.0%

■ 分析

・図書ラウンジの一般開放に対する高いニーズ

全体の約25%が図書ラウンジや自習室の開放を要望。特に村内住民からの期待が非常に高い。

・地域イベント・多世代交流の拠点化

イベント開催や地域のハブとしての活用を望む声が多数（31件）。村外からは広域交流イベント、村内からは日常的な集いの場としての要望が多く見られる。

・安全面・防犯（セキュリティ）への配慮

部外者の利用に対する保護者の不安（不審者対策、子どもたちの安全確保）に関する意見も見られるため、動線分離や運用ルールの整備が必要。